



らっこぐみ（0歳児）

らっこ組のお友だちは、「ことばどんどんたべものえほん」が大好きです。この絵本は、身近な野菜や果物がたくさん出てくる絵本です。自分が見たことのある果物や野菜が出てくると、指差しをして楽しんでます。「バナナ食べたね。」と伝えると「まんま」と言って喜んでます。これからも子どもたちの興味を大事にしていきながら、たくさんの絵本に触れ、楽しんでいきたいと思います。



かめ組（0歳児）



「とんとんとん」と言いながら、扉をたたく真似をすると、子どもたちは、興味を惹かれた様子で、絵本をじっと見えています。「こんにちは」と動物たちが、お辞儀をするように絵本を動かすと、にっこりと笑ったり、指差しをしながら、声を出して喜んでます。この絵本は、可愛い動物たちの絵が大きく描かれており、同じ言葉の繰り返しを楽しめるので、子どもたちのお気に入りの一冊です。

ぺんぎんぐみ（1歳児）

ぺんぎん組の子どもたちは、絵本が大好きです。最近では、うたあそび絵本がお気に入りです。担任と一緒に歌い、楽しむ姿が見られます。特に『はらぺこあおむし』では、曜日ごとの食べ物が出てくる場面で「りんご」「いちご」と歌に合わせて口ずさんでいます。また、最後にちょうちょが出てくると、指をさしたり、「ばいばい」と手を振って喜んでます。「あおむしさん読んで」とお気に入りの一冊です。



かにぐみ（1歳児）



だるまさんが、伸びたり縮んだり、転んだり色々な動きを見せてくれる絵本です。「だるまさん見よっか！」と声をかけ、絵本を見せると嬉しそうに駆け寄ってきます。子どもたちは、「だ・る・ま・さ・ん・が」に合わせて身体を揺らしながら見えています。ページをめくるたびに「びろーん」と伸びたり、だるまさんと同じ動きを真似して楽しんでます。「だるまさんの」「だるまさんと」などのシリーズ絵本も大好きな子どもたちです。

あしかぐみ（2歳児）

絵本を見ることが大好きなあしか組のお友だち。いつも、いろいろな絵本を「よんで！」とリクエストしてくれます。この絵本は、子どもたちが線路をどんどん繋げて、列車を走らせるお話です。列車を走らせていると、工事現場や高い崖、たくさんのお客さんに出会います。線路を繋げるためには「どうする？」のセリフに合わせて、「えきをつくる！」「はしもつくる！」とみんなでお話しながら楽しんでいます。



あざらしぐみ（2歳児）



あざらし組の子どもたちは、「かわいいむしさんえほん」シリーズが大好きです。中でも「ころちゃんはだんごむし」は、身近にいるかわいいだんごむしの話で、丸くなって転がり、皮を脱いで様子が変わることを楽しんでいます。また、カマキリやモグラに食べられそうになると子どもたちは、ハッとしたり、セミに助けてもらおうと子どもたちの表情もホッとしています。この絵本をきっかけに園庭でだんごむし探しにますます夢中になっていますよ。は

ばんどういるかぐみ（3歳児）

最近、「へんがおたいそう」の絵本が人気です。「へんがおたいそうがいい！」と子どもたちからリクエストされます。目・まゆげ・鼻・口と一つずつ顔のパーツが変化していき、様々な形顔（変な顔）になっていきます。顔のパーツもよく覚えてきています。顔が変わるたびに笑いがおき、最後に「みんなで変顔！」と言うと、恥ずかしながらも変顔をして楽しんでいます。お家でもぜひ一緒にやってみて下さいね。



しろいるかぐみ（3歳児）



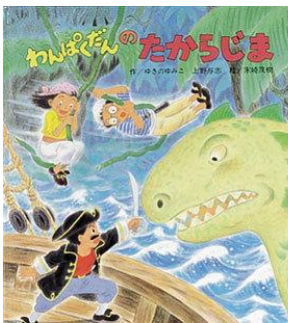
いろいろな絵本が大好きなしろいるか組のおともだち。その中でも『コケコックさん』はお気に入りの絵本の1つです。食べたいものの名前が思い出せないお客さん。コケコックさんがヒントと共に、どんな料理か考えながら、作っていくお話です。子どもたちも、お客さんの注文する料理をコケコックさんと一緒に考え、「ココアかな？」「お子様ランチかな？」と言いながら盛り上がっています。ご家庭でも、「夜ごはんは何かな？」「給食は何だった？」などの会話も楽しんでみて下さいね。

まっこうくじらぐみ（4歳児）

くじら組になり、長いお話も集中して聞けるようになった子どもたち。クラスでは、「うらしまたろう」や「こんとあき」などの物語を読んでいます。特に「こんとあき」は、子どもたちが夢中になり、見ていました。お話に出てくるこんは、主人公あきのおばあちゃんが作ったキツネのぬいぐるみです。こんは、腕がほころびてしまい、あきはこんを治すために一緒に、おばあちゃんの家に向かいます。そして、その途中に様々な出来事があります。切ない展開やほっと安心する場面があり、子どもたちが「次はどうなるのかな？」と考える様子が伝わってきます。今後も様々な物語の絵本に親しみ、子どもたちの想像力を高めることができるようにしていきたいです。



みんくくじらぐみ（4歳児）



子どもたちが大好きな「わんぱくだんのたからじま」を紹介します。このお話は、仲良し3人組が大冒険するお話です。ある日公園で海賊ごっこを始めた3人は、宝物として青いビー玉を砂の上に置きました。すると、突然ビー玉が光りだし、目を開けるとそこは本物の海の上、海賊の世界でした。3人は海賊船に乗り、海を渡ります。大冒険の途中、怪獣に会ったり、穴に落ちたりと子どもたちもハラハラ・ドキドキしながら楽しんでいきます。これからもたくさんの絵本を通して想像することを楽しめるようにしていきたいです。

かもめ1くみ（5歳児）

文字が少しずつ読めるようになってきて、いろいろな絵本に興味をもっています。今回は、おもしろいと人気のある『はやたろう』の絵本を紹介します。はやたろうは長野県と静岡県で長年親しまれた日本の伝説物語です。信濃の光前寺で生まれた山犬の子はやたろう。旅人の僧弁存に連れられ、磐田の見付天神に巣くう恐ろしい化け物を退治するため、勇敢に闘いを挑みます。難しい言葉に興味を持ち、また次々に変わる展開にドキドキハラハラしながら、絵本を楽しんでいます。子どもたちの発言や友達との会話のやりとり、想像力を大切にしていきたいと思います。



かもめ2くみ（5歳児）



かもめぐみになり、文字に興味をもって長い内容の絵本も聞き入って楽しんでいきます。中でも、「くわすにょうぼう」は、子どもたちの好きな絵本の1つです。この絵本には、ご飯を全然食べないのにいつも可愛い奥さんが出てきます。でも実はこの奥さんの正体が……。何度見ても最後の展開にとっても驚き、楽しみながら見ています。是非、ご家庭でも読んでみて下さいね。